

## ア 計画の体系

基本目標	4 子どもが健やかに育つ環境の充実	担当課	こども課
基本施策	(1) 未来をひらく子育て支援		
主な取組	① 幼児教育・保育のカリキュラムの充実 ② 職員の人材確保と資質の向上 ③ 幼・保・小の連携		

## イ 主な指標（達成度）【保育研修等の充実】

内容（指標）	目標値 (令和6年度)	R2	R3	R4	R5	R6	達成度 実績/目標値
全国研修への参加	12人	1人	5人	8人	人	人	50.0%
県内研修への参加	150人	93人	113人	117人	人	人	78.0%

## 参考【保護者満足度】

内容（指標）	目標値	—	R3	R4	R5	R6	達成度 実績/目標値	
保育園 ICT 支援システム「コドモン」	利便性満足度	80%	—	67.4%	68.1%	%	%	85.1%
	利用満足度	80%	—	73.2%	76.8%	%	%	96.0%

## ウ 点検及び評価

評価	保育アドバイザーや自然保育アドバイザーによる巡回訪問を実施し、幼児教育・保育のカリキュラムの充実に向けた取組を進めている。保育園 ICT 支援システム「コドモン」が、保護者の高い利用満足度を得ていることや、保育士の事務時間の削減につながるなど、施策の効果があつた。
<b>A</b>	<p>① 子どもの主体性や自己肯定感を育み、好奇心や創造力を発揮させ自ら成長する力を伸ばすため、自然を取り入れた保育カリキュラムについて、職員全体の共通認識が図れるよう取り組んでいる。自然保育アドバイザーによる管理者向け（園長・副園長）の自然保育研修を実施した。豊かな自然環境を活用した保育の取組を学び、各園での保育や環境の見直しを行った。</p> <p>② 保育園 ICT 支援システム「コドモン」をより効果的に活用するための委員会を設置し、コロナ禍における緊急連絡等の一斉配信や、保育士の事務効率化及び保育の質の向上を図った。使用方法等のマニュアル化や保護者アンケートから見えた課題の改善に向けた協議を行うことで保護者や職員の利用満足度の向上に努めた。</p> <p>② 子どもの育ちのために必要な職員を確保していくため、保育士の処遇改善を行った。会計年度任用職員の職種に国の制度である「子育て支援員」を新たに設け、資質向上と人材確保に努めた。</p> <p>② 職員の資質向上を図るため、保育アドバイザーによる助言・指導の取組内容を拡充し、全園での巡回訪問に加え役職別研修を実施した。</p> <p>③ 市内保育園等の施設は、地域の教育・保育施設として公立・私立園とともに重要な</p>


役割を担っている。公立・私立の幼保園長会を例月開催して連携を図り、感染症対策の情報共有や充実した幼児教育・保育、**小学校へのスムーズな就学**に向けた意見・情報交換に努めた。

エ 主な事業

事業名・目的	事業内容	事業費千円 (予算額)
<p>①幼児教育・保育のカリキュラムの充実 <b>《拡》</b></p> <p>: 教育子どもの主体性や自己肯定感を育み、好奇心や創造力を発揮させ自ら成長する力を伸ばす。</p>	<p>自然保育のカリキュラムの充実</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・先進事例研修 コロナ禍で視察研修無し (R3: 小矢部市認定こども園石動保育園 参加 19人)</li> <li>・自然保育アドバイザーによる巡回訪問 (環境設定の見直し、自然物を活用した遊びの指導) の実施 3園×3回 ※他園の職員も参加</li> </ul>  <ul style="list-style-type: none"> <li>・自然観察指導員による自然体験・自然観察会の実施 公立9園18回、私立1園3回</li> </ul>  	<p>45 (45)</p>
<p>①子育て教室・講座</p> <p>: 親子のふれあう時間を増やし、親が子育てを学ぶ。</p>	<p>各種子育て教室</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・親子教室の開催 4園4回開催 132人参加 (R3: 2園3回 45人参加)</li> </ul> 	<p>845 (2,211)</p>

<p>②保育園 I C T 支援システム 運用</p> <p>：保育士の働き方改革、保育の質の向上を図るとともに保護者の安心感・満足度向上を高める。</p>	<p>保育園 I C T 支援システム「コドモン」使用料及びネットワーク年間保守業務委託</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・保護者の利用満足度 68.1% (R3 : 67.4%)</li> <li>・利便性満足度 76.8% (R3 : 73.2%)</li> <li>・職員(保育士)満足度 (事務の効率化) 61.4%</li> </ul>	<p>5,906 (5,906)</p>
<p>②保育士・看護師等の確保</p> <p>：人材を確保し、より質の高い保育を実施する。</p>	<p>会計年度任用職員（フルタイム・パートタイム）の人材確保</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・フルタイム保育士 63 人 (R3 : 67 人)</li> <li>・看護師・事務員 大規模園 6 園に配置 &lt;資格取得&gt; ・保育士 3 人 ・子育て支援員 6 人 ・調理師 1 人</li> </ul>	<p>461,306 (470,432)</p>
<p>②保育士研修</p> <p>：様々な研修会を実施し保育の質の向上を図る。</p>	<p>新人保育士・管理者研修や乳児保育・安全対策等の研修、園内公開保育の実施</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・全国研修 6 人 (R3 : 3 人)</li> <li>東海北陸研修 2 人 (R3 : 2 人)</li> <li>県内研修 117 人 (R3 : 113 人)</li> <li>・市内公開保育実施園数 8 園 (R3 : 6 園)</li> <li>・市主催の各種研修  <ul style="list-style-type: none"> <li>管理者研修 3 回開催 55 人参加 (R3 : 5 回、78 人)</li> <li>新人保育士研修 5 回開催 68 人参加 (内新人 延べ 25 人) (R3 : 5 回、276 人 (内新人 延べ 45 人))</li> <li>教育担当者研修 3 回開催 33 人参加 (R3 : 3 回、36 人)</li> <li>こどもの権利条例研修 1 回 341 人参加</li> <li>その他各種研修 16 回開催 延べ 1,221 人参加 (R3 : 延べ 1,526 人)</li> </ul> </li> </ul>	<p>106 (130)</p>



<p>②保育アドバイザーの巡回訪問、役職別研修《<b>拡</b>》</p> <p>：保育内容や指導方法、環境改善等の助言・指導を受け、職員の資質の向上を図る。</p>	<p>保育アドバイザーによる</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・保育園の巡回訪問の実施 全12園×1日実施</li> <li>・役職別研修の実施 園長・副園長・園長補佐・主査・主任の役職ごとに各3回 参加者延べ160人</li> </ul> <p>園長研修 39人 副園長研修 21人 園長補佐研修 36人 主査研修 20人 主任研修 44人</p> 	<p>190 (195)</p>
<p>③幼・保・小の連携</p> <p>：就学前の育ちと学びをつなげ幼児教育・保育の充実を図る。</p>	<p>各小学校において、幼・保・小連絡会を開催し、幼稚園・保育園・認定こども園・小学校の連携を進めるため、意見交換を実施</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・実施園数12園</li> </ul>	<p>予算計上なし</p>

## オ 今後の取組と改善点

<p>① 自然を取り入れた保育カリキュラムについて、先進事例を視察し、職員全体で共通認識が図られるように取り組み、自然保育のモデル園の設置に向けての検討を進めていく。合わせて、南砺市こどもの権利条例の理念を十分理解し、幼児教育・保育の充実に生かしていく。</p> <p>② コドモン委員会で保育園ICT支援システム「コドモン」のお知らせや活動記録（ドキュメンテーション）の配信について、内容等全園共通認識をもって活用できるように取り組んでいく。引き続き保護者・職員満足度調査における課題についてはコドモン委員会で協議し改善していく。</p> <p>② 引き続き子どもの育ちのために必要な職員を確保していくため、今後も会計年度任用職員の資質向上を図り、フルタイム勤務の増員に取り組む。会計年度任用職員の職種で国の制度である「子育て支援員」を増やしていくことで、保育に必要な人材確保に努める。</p> <p>② 公立全12園での巡回訪問を実施し、各園での公開保育を通して保育アドバイザーより保育内容や指導方法、環境の改善等の助言、指導を受け、職員の資質の向上を図る。各園の職員が、大規模園の公開保育や討議、事前研修に参加することにより市内保育園全体の資質向上を図る。</p> <p>② 自然を取り入れた保育方法を学ぶため、自然保育アドバイザーを1名増員し、環境の改善等の助言・指導を実施する。</p> <p>③ 引き続き公立園との連携を図り、市主催の研修機会の提供など市全体の幼児教育・保育の充実に努める。</p>
---

## ア 計画の体系

基本目標	4 子どもが健やかに育つ環境の充実	担当課	こども課
基本施策	(2) 子育てを担う家庭への支援		
主な取組	① 多様化する働き方やニーズに対応した幼児教育・保育サービスの充実 ② 安心できる相談体制と子育て情報の発信の充実 ③ 子育てを支援する環境の充実 ④ 子育て家庭への経済的負担の軽減		

## イ 主な指標（達成度）【子育て家庭への支援の充実】

内容（指標）		目標値 (令和6年度)	R2	R3	R4	R5	R6	達成度 実績/目標値
就労しながら無理なく子育てできると感じる市民の割合	(南砺市市民意識調査)	70.0%	62.1%	65.2%	58.9%	%	%	84.1%
	(公立保育園保護者アンケート)	70.0%	—	79.9%	80.0%	%	%	114.3%

## ウ 点検及び評価

評価	<p>主な指標について、市民意識調査による結果は下がったが、保育園保護者アンケートでは高い割合を維持している。受け入れ枠の十分な確保や保育料等の軽減、職員の処遇改善など、安定的な園運営を行いながら保育サービスの提供を行っている。SNSを活用した安心できる相談体制の充実を図り、相談件数が倍増した。「南砺市こどもの権利条例」を制定し、普及啓発活動に努め、こどもの権利に対する認識が深まった。</p>
A	<p>① 保育園・認定こども園等において、公立・私立の教育・保育施設が連携して受入枠（提供量）を確保し、待機児童ゼロを維持している。コロナ感染拡大防止対策を行いながら保育サービス提供体制を維持するよう努めた。</p> <p>① 私立保育園・認定こども園等に対する新型コロナウイルス感染症対策のための物品・備品購入費用の援助や職員の処遇改善補助金、光熱費等高騰対策支援を行い、安定的な園運営の支援に努めた。</p> <p>② ③ 子育て支援アプリ「なんと Hug(ハグ)」の機能強化のため、システム改修を実施し保健事業の予約機能やリマインド機能等を追加した。子育て支援センター事業の予約に活用することで、アプリダウンロード数、アカウント登録数の増加を図り、出産から子育てへの切れ目のない支援、コロナ禍でも安心できる子育て支援体制の充実に取り組んだ。子育て支援センター事業についても、男女がともに子育てを担う意識を高める視点を取り入れた講座や祖父母などを対象とした講座、各種相談会等を実施し、子育てを支援する環境の充実に努めた。</p> <p>③ 「なんとみらい文庫」（中央図書館との共同事業）を拡充し、公立全保育園と児童館に加え、私立認定こども園においても実施し、家庭での読書活動の推進に努めた。</p> <p>③ 新型コロナウイルス感染症拡大防止対策に努めながら、児童館及び放課後児童クラブの運営管理を行い、こどもたちにとっての安心安全な居場所の確保と子育て家庭を支援する環境の充実に努めた。</p>

天候に関わらず親子で気軽に遊ぶことのできる場所のニーズを把握するため、市内児童館において日曜開館を試行的に実施した。

- ③ 令和4年12月に「南砺市こどもの権利条例」を制定した。制定にあたり、2年間で策定委員会を5回、素案検証委員会を3回開催したほか、「子ども」「人づくり」「環境づくり」の各ワーキンググループをそれぞれ6回ずつ開催して、こどもや教職員・保育士をはじめ、多くの市民に条例づくりに参画いただいた。

令和5年2月には条例制定記念イベント実施したほか、市内小中学校でこどもの権利に係る説明会を行うなどの普及啓発活動に努めた。

- ④ 3歳～5歳児の副食費及び0歳～2歳児の保育料について、市の独自軽減として第3子以降の無償化、多子世帯軽減、三世代同居世帯軽減を行った。
- ④ こどもの成長過程における経済的負担の軽減を図るため、中学生以下のこどもに係る医療費自己負担額を全額助成した。また、高校生を養育する低所得の子育て家庭に対しても、医療費を全額助成するとともに通学定期券購入費についても1/2助成を行った。

## エ 主な事業

事業名・目的	事業内容	事業費千円 (予算額)
①施設型給付の支給 ：私立園の質の高いサービスの提供を支援する。	私立保育園・認定こども園に対する運営費の給付	323,652 (325,897)
①地域子ども・子育て支援事業 ：特別保育サービスの充実を図る。	子ども・子育て支援事業計画に従って実施する事業 ・一時預かり事業 利用者数 1,253人 ・延長保育事業 利用者数 544人 ・病児保育事業（病児・病後児・体調不良児対応）利用者数 1,181人	42,346 (45,905)
②③子育て支援アプリシステム運用《拡》 ：コロナ禍であっても、子育てにおける安心感の提供・満足度向上を図る。	子育て支援アプリシステム年間保守、サーバー保守、システム改修業務 ・アプリダウンロード件数（累計）1,579件 ・アカウント登録者数（累計）619人（R3：1,063件、392人） ・相談件数 412件（R3：243件）	4,839 (4,839)
③施設・設備の維持・管理 ：保育園施設・設備の整備で子育て環境の充実を図る。	保育園施設・設備の更新、修繕、保育備品の購入	19,194 (12,742)



<p>③子育て支援センター事業 （子育て交流サロン事業、子育て親育ち応援事業《拡》）</p> <p>：親子の交流の場や子育て関連情報を提供し、家庭で子育てをしている保護者を支援する。</p>	<p>子育てに関する相談や講習等を実施</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・祖父母の子育て講座 10回開催、参加者数40組</li> <li>・ハッピー7（7ヶ月の乳児対象） 13回開催、参加親子数84組</li> <li>・はじめましての日 （はじめての利用者対象） 12回開催、参加親子数76組</li> <li>・ふたご・みつご・なんとっ子 毎月22日に開催             <ul style="list-style-type: none"> <li>・パパ講座 6回開催、参加者数40組</li> <li>・もうすぐパパ・ママ講座 4回開催、参加者数30組</li> </ul> </li> <li>・子育て支援センターの土・日曜日開所（各1か所） 利用親子数延べ1,993人 （R3：1,954人）</li> </ul> 	<p>50,892 (53,923)</p>
<p>③児童館指定管理</p> <p>：児童に健全な遊びを与えてその健康を増進し、及び情操を豊かにする。</p>	<p>児童館・児童センター 4館 利用者数 18,686人 （R3：17,317人）</p>  <p>上記のうち、日曜開館試行による利用者数 122日（38日間）</p>	<p>31,339 (31,339)</p>
<p>③放課後児童クラブ事業</p> <p>：小学校に就学児童であって、その保護者が労働等により昼間家庭にいないものに、授業の終了後に児童厚生施設等の施設を利用して適切な遊び及び生活の場を与えて、その健全な育成を図る。</p>	<p>市直営4クラブ、運營業務委託5クラブ 登録者数447人、延利用者数49,993人 （R3：437人、52,734人）</p> 	<p>43,678 (45,664)</p>

<p>③子どもの権利条例づくり事業 <b>《拡》</b></p> <p>：こどもの権利条例の策定、こどもの権利の普及啓発に向けた取組を推進する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・策定委員会 3回</li> <li>・素案検証委員会 3回</li> <li>・ワーキンググループ3部会 各2回</li> <li>・シンポジウム(R4.8.6)</li> <li>・条例制定記念イベント「なんとキッズライツ DAY」(R5.2.11)</li> <li>・啓発物品の作成・配布 キャラクターシール作成(小学生) 普及パンフの配布(市内全戸) 小学生向け普及パンフの作成 ポスター配布(市内全域)</li> <li>・啓発用木製玩具の作成 (保育園・子育て支援センター・児童館に配布)</li> </ul> 	<p>5,290 (6,019)</p>
<p>③なんとみらい文庫事業</p> <p>：保育園での図書の貸し出しを行い、家庭教育力の充実を図る。</p>	<p>中央図書館との共同事業</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・公立保育園 全12園+</li> <li>・私立認定こども園 2園 10,321冊</li> <li>・児童館 3館 66冊</li> </ul> 	<p>予算計上なし</p>
<p>④保育料軽減等による経済的支援(歳入)</p> <p>：子育て家庭への経済的負担の軽減を図る。</p>	<p>第3子以降の保育料等無料化 多子世帯(同時入園)の保育料軽減 三世帯同居する世帯の保育料軽減</p>	<p>59,590 (64,396)</p>



<p>④こども妊産婦医療費助成事業、養育医療給付事業</p> <p>: 子育て家庭の経済的負担の軽減を図る。</p>	<p>医療費（保険適用分）の自己負担分を助成</p> <p>こども医療（0歳～中学生） 4,853人</p> <p>妊産婦医療 79人</p> <p>養育医療 ※ 6人</p> <p>※ 未熟なまま産まれた乳児の指定医療機関における入院医療費</p>	<p>115,763 (121,700)</p>
<p>④子育て応援制度事業</p> <p>: 子育て家庭の経済的負担の軽減を図る。</p>	<p>高校生通学定期券購入補助金 3,535千円</p> <p>高校生医療費助成 2,625千円</p>	<p>4,829 (5,355)</p>

### オ 今後の取組と改善点

- ① 公立・私立保育園・認定こども園等において、地域の教育・保育施設として今後も受入枠の確保や連携、光熱費等高騰対策支援を行うことで安定した幼児教育・保育の提供に努める。医療的ケア児の受け入れのため、プロジェクトチームを立ち上げ検討していく。
- ② 引き続き子育て支援センター事業の予約等に活用するなど子育て支援アプリ「なんと Hug(ハグ)」の利用率向上を図り、アプリ利用者を対象とした子育てに関するニーズ調査を実施・分析することで、子育てに関する情報の発信を充実させていく。
- ③ 子育て支援センターについても引き続き、ニーズや課題を分析し、運営方法や相談体制、講座内容の見直しを行っていく。出生後の伴走型支援の充実に取り組むほか、地域の方にも参加してもらうなど社会全体で子育てを支援する環境づくりに努める。土曜サロンを福光児童館きつずらんどで開催し、家族で利用してもらえるよう取り組んでいく。
- ③ 児童館及び放課後児童クラブについては、新型コロナウイルスとはじめとする感染症の状況を考慮しつつ、引き続き児童の安全安心な居場所の確保・管理運営に努める。児童館について日曜日親子ふれあい開館を10ヶ月試行した結果、一日あたり平均利用者が3.2人だったことから、当面の間、従来どおり月～土曜日の開館とする。
- ③ 「大人も子どもも幸せに暮らせる南砺市」を実現するための指針となる「こどもの権利条例」が令和5年4月に施行したことを踏まえ、条例に基づく「こどもの権利委員会」を設置して、市の現状把握と権利推進に向けた方向性を取りまとめるとともに、行政として取り組むべき具体的な内容と達成すべき具体的な数値目標を掲げたアクションプランの策定に取り組む。
- ④ 国・県の保育料軽減事業等の動向を適確に把握し、市の保育料・副食費の軽減を確実に実施していく。
- ④ 経済的な負担が重くなる高校生の子育てについて、所得制限を撤廃した医療費助成や通学費用の助成に取り組むとともに、出生から高校生の子育てまで切れ目のない支援内容の周知に努める。

## ア 計画の体系

基本目標	4 子どもが健やかに育つ環境の充実	担当課	こども課
基本施策	(3)地域や企業における子どもと家庭への支援		
主な取組	① 小規模多機能自治における子育て支援の充実に向けての支援 ② ワーク・ライフ・バランスの実現に向けた理解促進と啓発 ③ 企業における子育てと仕事の両立への取組促進		

## イ 主な指標（達成度）【子どもの居場所の充実、子育てと仕事の両立】



内容（指標）	目標値 (令和6年度)	R2	R3	R4	R5	R6	達成度 実績/目標値
地域主体の学童保育実施数(とやまっ子さんさん広場・地区交流センター等)	11カ所	7カ所	8カ所	8カ所	カ所	カ所	72.7%
なんと！やさしい子育て応援企業認定数	50事業所	36事業所	53事業所	62事業所	事業所	事業所	124.0%

## ウ 点検及び評価

評価	コロナ禍であっても地域主体のこどもの居場所（とやまっ子さんさん広場）が着実に運営され、子育て応援企業があらたに9カ所増えており、地域・企業における子ども・子育て家庭への支援が広がっている。
B	<p>① 地域主体で取り組む子どもの居場所づくり（とやまっ子さんさん広場推進事業）について、8カ所に財政支援を行った。また、地域における子育て家庭の孤立防止とこどもの健全育成の取組（子どもの居場所づくり促進事業）も、新たに3団体で取組が始められ、地域における子育て支援体制・環境の充実が図られている。</p> <p>② 市内9事業所が、新たになんと！やさしい子育て応援企業に認定され、累計64事業所となった。ワーク・ライフ・バランスに対する理解促進と普及啓発を図る企業が着実に増加しており、表彰された5事業所の取組を広報等で紹介することにより、子育てと仕事の両立に向けた市民意識の醸成に取り組んだ。</p> <p>③ 子育てと仕事を両立できる環境づくりに取り組む事業所へのアドバイザー派遣事業を市内2事業所で実施し、子育て支援を企業経営と一体的に考える開かれた企業の育成を図った。</p>

## エ 主な事業

事業名・目的	事業内容	事業費千円 (予算額)
① とやまっ子さんさん広場推進事業 : 地域の力を活かした子育ての新たな支え合いを推進す	運営補助 8団体 (R3: 8団体) おがやサンサン広場 北野子どもふれあい広場 五箇山子ども広場 利賀子ども広場	6,670 (6,850)

<p>る。</p>	<p>子育て支援寺子クラブ アフタースクールあおむし いのくち放課後クラブ 福野南部なかよし広場</p>	
<p>①子どもの居場所づくり促進事業</p> <p>：地域のつながり強化、子育ての孤立防止、子どもの健全育成等を図る。</p>	<p>運営補助 5 団体（R3：2 団体） 吉江地域づくり協議会 北山田地域づくり協議会 広瀬館地域づくり協議会 西太美地域づくり協議会 福野東部地域づくり協議会</p>	<p>183 (240)</p>
<p>②なんと！やさしい子育て応援企業認定事業</p> <p>③子育て応援環境づくり等アドバイザー派遣事業</p> <p>：ワーク・ライフ・バランスや子育てと仕事の両立に向けた職場環境の取組を推進する。</p>	<p>なんと！やさしい子育て応援企業 新規認定 9 事業所 ※累計 64 事業所 (R3：17 事業所)</p>  <p>子育て応援環境づくり等アドバイザー派遣 派遣実績 2 事業所（R3：1 事業所）</p>	<p>134 (134)</p>
<p>②③なんと！やさしい子育て応援企業表彰事業</p> <p>：ワーク・ライフ・バランスや子育てと仕事の両立に向けた職場環境の取組を推進する。</p>	<p>なんと！やさしい子育て応援企業 表彰企業 5 事業所（R3：5 事業所）</p> 	<p>18 (18)</p>

オ 今後の取組と改善点

- ① とやまっ子さんさん広場推進事業及び子どもの居場所づくり促進事業について、地域づくり協議会を通じて地域に制度を紹介し、新規開設につなげていく。
- ② なんと！やさしい子育て応援企業の認定事業所数を**継続して増やしていく**。
- ③ 男性の育児参加、ワーク・ライフ・バランスなど働き方に対する意識が高まってきていることも踏まえ、令和5年度からは企業に対する認定勸奨や表彰を廃止しつつ、商工企業立地課や南砺で暮らしません課などの関係課と連携により、働き方改革のひとつとしての子育て支援の充実を働きかけていく。

## ア 計画の体系

基本目標	4 子どもが健やかに育つ環境の充実	担当課	こども課
基本施策	(4) 配慮が必要な子どもと家庭への支援		
主な取組	① 子どもと家庭への総合的な支援（拠点づくり） ② 児童虐待対策の強化 ③ 児童発達支援の充実 ④ 子どもの貧困対策の推進		

## イ 主な指標（達成度）【児童発達支援の充実】

内容（指標）	目標値 (令和6年度)	R2	R3	R4	R5	R6	達成度 実績/目標値
障がい児保育研修の開催回数と受講した保育士数	10回 300人	11回 236人	11回 204人	11回 336人	回 人	回 人	110.0% 112.0%
保育園・認定こども園巡回訪問延べ回数と支援児童実人数	60回 400人	48回 259人	53回 209人	44回 172人	回 人	回 人	73.3% 43.0%

## ウ 点検及び評価

評価	障がい児保育研修は、園内での情報共有を図ることで児童発達支援の充実につなげている。子どもや保護者、地域社会の相談窓口としての周知が進み、相談件数は増加した。実情に応じ訪問、面談の実施や各種教室・専門機関につなぐことで継続した支援を行い、不安等の解消を図っている。
B	<p>① 子どもや子育て家庭、地域社会の相談窓口として、子ども家庭総合支援拠点「スマイルなんと」を設置した。こども課や「スマイルなんと」が中心となり、関係機関と連携を図りながら、適切な支援を行える体制づくりに努め、通告や虐待疑いがあった場合は、児童相談所と連携し、早急に対応を行った。</p> <p>② 「南砺市児童虐待防止・対応マニュアル」を用いて、保育園、小中学校などへの配布・説明を継続的に行い、児童虐待に対する啓発普及に努め、対応についての協力体制を構築した。このことにより学校からの相談件数が大きく増加した。</p> <p>③ 発達に気がかりのある児童とその保護者向けの発達相談会や園児対象の集団支援教室などを開催。公認心理師の専門的な指導・助言を受ける機会を設け、「こどものえがおクリニック」への相談・受診につなぐなど、保護者に寄り添い、不安軽減を図る支援を行っている。</p> <p>④ 養育困難、貧困等の多様かつ複合的な問題を抱える家庭等に対し、市社会福祉協議会や税務、住宅、介護、保健、医療、福祉、教育委員会などの関係部署と情報共有を図り、適切な支援につながる体制づくりを推進した。</p> <p>コロナ禍の影響への支援として、ひとり親世帯や低所得世帯への生活支援特別給付金など様々な経済的支援を実施した。</p>

## エ 主な事業

事業名・目的	事業内容	事業費千円 (予算額)
①相談支援事業《拡》 ：育児や子どもの発達、児童虐待など子育てに関することや、離婚、DVなどの家庭に関する問題や心配事などの相談に応じる。	こども家庭相談室「スマイルなんと」を設置し、各種相談員を配置 相談室の相談件数 延べ1,224件 (R3: 615件)	6,477 (7,037)

<p>②④要保護児童対策地域協議会</p> <p>：児童虐待の早期発見、早期対応のため関係機関との連携強化を図る。</p>	<p>要保護児童の早期発見及び適切な保護や要支援児童・特定妊婦などへの適切な支援を行うため各会議を開催</p> <p>代表者会議 1回(R3：1回) 実務者会議 10回(R3：9回) 個別ケース会議 31回(R3：25回)</p>	<p>142 (158)</p>
<p>③こどもの発達相談会</p> <p>：発達に気がかりのある子どもに対し家庭での育児に困り感や不安を持つ保護者が子どもの発達を学び、育児力の形成につなげる。</p>	<p>相談会の開催 6回（9人参加）（R3：7回、14人参加） 対象：在園児（年中・年長児が主）</p>	<p>99 (120)</p>
<p>③集団支援教室</p> <p>：子どもの発達について同じような悩みを持つ保護者同士が集まり思いを共有し家庭での関わり方を学ぶことで保護者を支援する。</p>	<p>集団支援教室「カンガルーひろば」の開催 9回（71人参加） （R3：8回、52人参加 ※1回中止） 対象：発達に気がかりのある保育園在園中の年長・年中児</p>	<p>155 (168)</p>
<p>③ほめのび教室</p> <p>：保護者の気持ちに寄り添い、不安軽減を図る切れ目のない支援と早期発見・早期療育につなげる。</p>	<p>育てにくい特性をもつ子ども（1歳6カ月～4歳程度）への対応や関わり方を学び、子育ての悩みを共有し、育児ストレスの軽減を図りながら保護者の「子どもの育ちを支える力」を向上させる。 6回（9人参加）（R3：6回、30人参加）</p>	<p>90 (95)</p>
<p>③保育園巡回訪問</p> <p>：発達に気がかりのある園児の園での支援について助言等を行い、関係部署の情報共有を図る。</p>	<p>こども課、教育総務課、保健センターの専門職が全保育園、認定こども園を巡回 [訪問回数] 6回：2園、5回：4園、3回：1園、 2回：4園、1回：1園 ※必要時随時対応</p>	<p>予算計上なし</p>

## オ 今後の取組と改善点

<p>① 子ども及びその家庭、妊産婦等を対象に実情の把握、様々な相談対応や調査等により、必要なサービスをつなぐソーシャルワークを中心とした機能を担う子ども家庭総合支援拠点「こども家庭相談室 スマイルなんと」を広く周知するため、市報、市HP、なんと Hug、学校、保育園、民生委員・児童委員等を通じた周知啓発を行い、子どもや保護者にカードやチラシを配ることで、相談したい人に届くよう周知徹底に努める。</p> <p>② 児童虐待防止・対応マニュアルを活用し、こどもの権利条例とあわせて普及啓発を図り、虐待の未然防止、早期発見・対応に継続的に取り組む。学校の教員間での理解が進むよう教務主任会等への説明も追加して取り組んでいく。</p> <p>③ 引き続き、発達に気がかりのある子どもと保護者に対して、発達相談会等を通し支援を必要とする児童の早期発見・早期療育につながる体制づくりに努める。南砺市こどものえがおクリニックと連携し、個々の実情にあわせ保育園や学校等へ情報共有を図り、健やかな養育支援につなげる。</p> <p>④ 貧困等の多様かつ複合的な問題を抱える家庭への支援は、要保護児童対策地域協議会の各関係機関との連携や情報共有を図り、スマイルなんとやなんと Hug 等を活用しながら気軽に相談できる体制や必要な支援を受けられる体制を整えるよう努める。</p>
---

## ア 計画の体系

基本目標	5 魅力ある文化芸術活動の振興	担当課	文化・世界遺産課
基本施策	(1) 文化芸術創造プランの推進		
主な取組	① 南砺市文化芸術振興実施計画 ② TOGA 国際芸術村構想 ③ スキヤキ・ミーツ・ザ・ワールド ④ 南砺市いなみ国際木彫刻キャンプ		

## イ 主な指標（達成度）【文化芸術活動の充実】

内容（指標）	目標値 (令和6年度)	R2	R3	R4	R5	R6	達成度 実績/目標値
積極的に文化活動を行っている市民の割合（南砺市市民意識調査）	17.0%	17.5%	18.4%	16.7%	%	%	98.2%

## ウ 点検及び評価



評価	令和4年度は利賀の演劇、スキヤキ・ミーツ・ザ・ワールドともにほぼ通常規模での開催となり、多くの市民や子どもたちがワークショップやイベントに参加し、南砺市の文化芸術に触れることができた。
B	<p>① 「第2次南砺市文化芸術振興実施計画」に基づき、福光麻布・福野縞の保存継承活動団体による意見交換会や活動展示・ワークショップイベントを開催した。また、「第2回獅子舞共演会」の次年度開催へ向け、獅子舞団体交流会を行い市内の獅子舞団体の状況把握や情報共有を行ったほか、市内獅子舞団体関係者を中心とした獅子舞部会を組織し、事業内容の検討を行った。</p> <p>② 利賀舞台演劇事業は、サマー・シーズン（8、9月）のほか、第10回シアター・オリムピックス in ブダペストで上演する「トロイアの女」の特別公演（3月）などが行われ、国内外から約4,700人（R3：約2,500人）が利賀を訪れた。中でもサマー・シーズンは、日本初の国際演劇祭「利賀フェスティバル」が始まって40周年を記念した特別プログラムとして、3週にわたって実施した。利賀鈴木演劇塾（市事業）には、17か国から若手演劇人30人が参加し、スズキ・トレーニング・メソッドを学んだほか、劇団SCOTの稽古見学や観劇を通して、多角的に演劇の在り方を考える機会とした。SCOT主宰の鈴木忠志氏によるトーク（市事業）では、鈴木氏が利賀の歩みと未来を語り、来場者の質問にも答えた。来場者にとって、演劇の歴史と今後の展望について考えるきっかけとなった。</p> <p>③ スキヤキ・ミーツ・ザ・ワールドは、期間を短縮していた本会期をコロナ禍前の3日間に戻して開催し、会場では延べ8,150人がワールドミュージックの魅力に浸</p>

った。令和3年度に引き続き配信プログラムも行い、会場外でも多くの人がスキヤキを楽しんだ。事前、事後会期中のワークショップでは、市民や地元の子どもたちが世界の音楽や文化に触れた。

- ④ 4年に1度開催される南砺市いなみ国際木彫刻キャンプで制作された作品は市内各施設や公園内等に設置され、市民が芸術に親しむ空間を生み出している。屋外に展示されており、経年劣化が著しい過去の木彫刻作品について、破損個所の修繕や防腐剤塗布などの維持管理業務を行っている。

## エ 主な事業

事業名・目的	事業内容	事業費千円 (予算額)
<p>①「南砺市文化芸術振興実施計画」推進事業</p> <p>：「南砺市文化芸術振興基本計画」に基づき、南砺市の文化芸術の充実・発展、伝統文化の継承を進める。</p>	<p>・実施計画推進にかかる会議の開催 【推進ワーキンググループ】20名 全体会11回、獅子舞部会4回、 交流会3回 開催</p>	<p>1,694 (2,090)</p>
	 <p>・南砺市文化芸術アーカイブズホームページの管理・運営 外部団体記事掲載数 31件/年 (R3: 57件/年) アクセス数 39,626件/年 (R3: 35,575件/年)</p>	

<p>②利賀舞台芸術事業</p> <p>：世界的な演劇の聖地としてアジアの拠点となっている利賀において、官民一体となった取り組みを実現し、舞台芸術環境の向上を目指す。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・利賀鈴木演劇塾インターナショナル・クラス（市事業） 場所：富山県利賀芸術公園内 開催期間：8月15日～8月25日 受講者：30名（17か国から参加）</li> <li>・SCOTサマー・シーズン（利賀フェスティバル40周年記念プログラムとして開催） 場所：利賀芸術公園・利賀大山房 開催期間：8月26日～9月11日 入場者数：4,367人（R3：1,521人） 内容：演劇19公演（県事業） 鈴木忠志トーク3回（市事業）</li> </ul>	<p>16,000 (16,000)</p>
		
<p>③「スキヤキ・ミーツ・ザ・ワールド2022」の開催事業補助金</p> <p>：異文化交流を通じた新たな音楽文化を創造する市民参加型フェスティバルとして全国に向けて発信し、文化芸術を活かしたまちの活性化を目指す。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・スキヤキ・ミーツ・ザ・ワールド開催事業 【本会期】 場所：福野文化創造センター 開催期間：8月26日～28日 入場者数：ステージ8,150人（R3：650人） 配信視聴回数13,460人（R3：11,078人）</li> <li>・ワールドミュージック事業 【市民音楽団体育成事業】 ・プロアーティストによる指導（市民音楽団体に対してワークショップや曲づくりの指導を行った。） 場所：福野文化創造センター 開催期間：8月1日～28日 参加者数：延べ421人（R3：294人）</li> </ul>	<p>17,676 (17,676)</p>



	<p>・アウトリーチ事業                  （「世界の音楽体験 2022」として、市内の学校にプロアーティストが出向き、子どもたちに世界の音楽に触れる機会を提供した。）                  場所：市内小学校5校                  開催期間：8月1日～11月1日                  参加者数：延べ375人</p>	
<p>④いなみ木彫刻キャンプ作品管理業務</p> <p>：4年毎に開催される「南砺市いなみ国際木彫刻キャンプ」で作成された後、市内各公共施設等で展示されている作品の維持管理を行う。</p>	<p>・修繕工事等                  過去8回の木彫刻キャンプで制作された作品の破損箇所の修繕および劣化した作品の撤去工事</p>	<p>216                  (271)</p>



オ 今後の取組と改善点

- ① 「第2次南砺市文化振興実施計画」に則り事業を行う。今年度交流会を行った福光麻布・福野縞の保存団体について、次世代の担い手を発掘するため、市内小中学生を対象としたアウトリーチ事業を行う。また、第2回の獅子舞共演会実施や南砺市文化芸術アーカイブズの活用について引き続き企画協議を行っていく。
- ②③④ 南砺市の魅力を世界に発信する利賀舞台芸術・スキヤキ等の活動が、住民と一体となって「文化芸術創造都市」としてより一層発展するよう支援していく。また、令和5年度開催の「南砺市いなみ国際木彫刻キャンプ2023」では、木彫刻のまち井波をアピールするとともに、市民が世界の人々と交流する機会となるよう取り組む。

## ア 計画の体系

基本目標	5 魅力ある文化芸術活動の振興	担当課	文化・世界遺産課
基本施策	(2) 文化芸術活動への支援		
主な取組	① 美術活動の推進 ② 各地域の文化協会や団体支援		



## イ 主な指標（達成度）【芸術活動】

内容（指標）	目標値 (令和 6 年度)	R2	R3	R4	R5	R6	達成度 実績/目標 値
市美術展出品者数 (延べ人数)	400 人	269 人	294 人	260 人	人	人	65.0%
「アートで遊ぼう」参加者数	80 人	39 人	62 人	110 人	人	人	137.5%

## ウ 点検及び評価

評価	市展出品者数については、若年層からの出品数に伸び悩みが見られるが、「アートで遊ぼう」については、日数および定員の倍増により受入数を増やすことができた。
<b>B</b>	
<p>① 南砺市美術展（市展）は、出品者数の拡大のため平成 30 年度から南砺市にゆかりのある人からの応募受入および物故者遺作を募集している。また、市外の高校に個別案内し南砺市在住者の出品を呼びかけている。新型コロナウイルス拡大による影響（作品制作時間の減少）は小さくなったが、高校生や若年層の出品が伸び悩んでいる。</p> <p>「アートで遊ぼう」事業は、毎年募集定員を大きく上回る応募があるが、活動場所の広さ等により参加人数が制限されていた。R4 年度は開催日数の変更（1 日→2 日）、美術館全体を制作会場としたコース定員の増等により、募集定員を 100 名以上に拡大することができた。</p> <p>② 令和 5 年度からの補助金ガイドライン本格稼働に向け、補助金交付要綱の制定を行った。また、各地域文化協会の統合に向けた協議に参加し、組織運営や体制づくりに関する助言、先進地の事例などの情報提供等を行った。</p>	

エ 主な事業

事業名・目的	事業内容	事業費千円 (予算額)
<p>① 「第18回南砺市美術展」の開催</p> <p>：文化芸術活動を担う人材の育成のため、発表の場を提供し、地域文化活動の活性化を図る。</p>	<p>開催期間：11月12日～11月27日</p> <p>入場者数：3,428人 (R3：2,996人)</p> <p>作品出品数</p> <p>招待出品 92点</p> <p>委嘱出品 26点</p> <p>一般出品 142点</p> <p>(うち高校生16点)</p> <p>計 260点 (R3：294点)</p> 	<p>2,010 (2,186)</p>
<p>① アートで遊ぼう事業 「アートで遊ぼう in なんと」の開催</p> <p>「なんと和紙ものがたり」の開催</p> <p>：時代を担う子どもたちが、文化芸術に親しむ機会を提供し、美術創作活動に関心を持つきっかけとなることを目的とする。</p>	<p>「アートで遊ぼう in なんと」 開催期間：8月5日、6日 ワークショップ参加者数 110人 (R3：62人)</p> <p>【参加者内訳】 (コース別)</p> <p>ランプシェード 9人</p> <p>わくわくかぼちゃ 12人</p> <p>ちぎり絵 27人</p> <p>キーホルダー 27人</p> <p>和紙の染色 22人</p> <p>まん丸アート 13人</p> <p>計 110人</p> <p>「なんと和紙ものがたり」 開催期間：6月12日～1月8日 全6回 ワークショップ参加者数 9人 (R4 新規)</p> 	<p>280 (265)</p>

オ 今後の取組と改善点

- ① 市展においては今後も南砺市美術連合会と連携し開催する。若年層が関心を持つように SNS 等やホームページで情報発信を行うなど、アプローチの仕方を変えて事業に取り組む。また市内企業へ印刷物（ポスター、チラシ）掲示を依頼し、出品者の新規開拓に取り組む。また「アートで遊ぼう」事業では、五箇山和紙を使い地域の伝統工芸に触れる機会を作りながら、子ども達に創作の楽しさを教える「なんと和紙ものがたり」を今後も開催する。「アートで遊ぼう in なんと」では多くの参加希望を受け入れるため、開催日数変更およびコース定員の増等により募集定員の拡大を継続する。
- ② 統合後の文化協会に対し、持続可能な組織として活動していけるよう、組織運営や体制づくりに関する助言、先進地の情報提供等の支援を継続するほか、文化芸術振興に関わる事業を積極的に提案していきたい。

## ア 計画の体系

基本目標	5 魅力ある文化芸術活動の振興	担当課	文化・世界遺産課
基本施策	(3) 文化ホール・美術館等の事業の充実		
主な取組	① 美術館での鑑賞の機会 ② 文化芸術活動の推進		

## イ 主な指標（達成度）【事業の充実】

内容（指標）	目標値 (令和6年度)	R2	R3	R4	R5	R6	達成度 実績/目標値
美術館入館者数	21,500人	11,949人	20,329人	14,476人	人	人	67.3%

## 【参考】



内容（指標）	R2	R3	R4	R5	R6
文化ホール3館利用者数	58,045人	72,109人	93,861人		

※主要施策報告書より

## ウ 点検及び評価

評価	新型コロナウイルス感染症による影響が少なくなってきたが、指標の令和6年度に達成すべき目標値には届かなかった。
<b>B</b>	
①	福光美術館では、「野を生きた書人 宮崎重美展」、「愛染苑、40年。～志功と俊彦の物語～」、「福光美術館 驚きの収蔵品展」「空する、時する 横山丈樹展」ほか全7企画展を開催した。常設展示室は4回の展示替え、コレクション室は8回の企画展示を行うなど魅力アップに心掛けた。また、毎年1回、市内小学生児童（5～6年生）を対象に美術館へ招待し美術鑑賞の機会を設けている。コロナ禍の影響が残る他、企画展の内容にもよるが前年比71%と来場者が減少した。また、令和2年度から棟方志功研究家で同氏の孫でもある石井頼子氏の協力を得ながら、令和5年度の棟方志功生誕120年に向けて同氏からの寄贈の資料調査を開始（令和2年度～6年度）するなど、新規事業にも引き続き取り組んでいる。
②	令和4年度から3館の文化ホール（井波総合文化センター・福野文化創造センター・城端伝統文化会館）の指定管理者が1本化されたことで、3館連携の強みを活かした事業が行われ前年比130%と利用者数が増加した。市内団体が出演する庵唄・むぎやの定期公演や著名人による多彩なジャンルの公演、コンサート等を実施し、幅広い世代に向けて文化芸術に触れる機会を提供した。また、ワークショップなどの体験型・参加型事業を多く取り入れ、地域の文化活動の推進と地域に愛される施設を目指し進めていく。

## エ 主な事業

事業名・目的	事業内容	事業費千円 (予算額)
①福光美術館常設展展示  : 世界的版画家「棟方志功」と福光出身の日本画家「石崎光瑠」の作品展示	観覧者数 7,152 人 (R3 : 9,720 人) 展示替え年4回 	<b>4,573</b> (5,010)
①福光美術館企画展の開催  : 地域ゆかりの作家から、世界的な作家まで、来館者に美術の魅力と鑑賞の機会を提供するための企画展。	観覧者数 9,715 人 (R3 : 16,962 人) 企画展内訳：宮崎重美展、愛染苑 40 年展、驚きの収蔵品展、横山丈樹展、南砺市美術展、なんと版画年賀状公募展、川合宣之展 	<b>20,148</b> (24,182)
①棟方志功記念館管理運営  : 福光美術館の分館として、「棟方志功」の当時の暮らしぶりを今に伝える施設。	入館者数 3,371 人 (R3 : 2,498 人) 企画展内訳：詩歌頌展、愛染頌展、四季頌展、他力頌展、此道頌展	8,956 (9,141)
①棟方志功資料調査事業  : 棟方志功研究家で同氏の孫でもある石井頼子氏からの寄贈された棟方志功の遺品の整理・調査。	<b>【棟方志功関係資料の調査】</b> 令和5年度の棟方志功生誕120年での公開に向け、未整理の棟方志功関係資料について、令和6年度までに調査・整理・データ化を行い、その後寄贈を受ける予定。	<b>3,511</b> (5,555)

## オ 今後の取組と改善点

- ① 福光美術館は棟方志功、石崎光瑠、南砺市ゆかりの作家の作品を収集し展示しており、市展、版画年賀状展など回を重ねる展覧会も行っている。近隣美術館や作家関連の美術館と連携し、若年層を呼び込む企画展、マンネリ化しない工夫を凝らした企画展を展開していくとともに、広報にも重点を置き、入館者数の増加に取り組む。棟方志功関係資料調査については、貴重かつ重要なものであり、展示の幅を広げることが期待されるものであることから、調査の加速化を進める。
- ② 各文化ホールの会館事業については、各文化ホールと意見交換の場を設けるなど事業の充実を図り、複数の課と連携しながら協働体制を高め、より一層、設置目的や市民ニーズに対応した事業の実施に努める。

## ア 計画の体系

基本目標	6 文化財の保存・活用と伝統文化の継承	担当課	文化・世界遺産課
基本施策	(1) 世界遺産マスタープランの推進		
主な取組	① 世界遺産の保存 ② コガヤ自給率の向上		

## イ 主な指標（達成度）【茅の自給率向上】

内容（指標）	目標値 (令和6年度)	R2	R3	R4	R5	R6	達成度 実績/目標値
コガヤ年間生産量	15,000 束	12,000 束	12,620 束	13,080 束	束	束	87.2%
世界遺産サポーター（保全事業ボランティア参加数）	150 人	100 人	100 人	100 人	人	人	66.6%

## ウ 点検及び評価

評価	合掌家屋の保存修理をはじめとした国史跡の保護、五箇山全体の景観維持を円滑に進めている。またコガヤ増産への取組も計画通り進行している。
<b>B</b>	
<p>① 世界遺産の合掌造り集落（国史跡かつ重伝建）において、合掌造り家屋の葺替えや集落内家屋の修景など保存整備事業を計画的に実施している。</p> <p>① 令和2年3月に国史跡にかかる「保存活用計画」を新たに策定（計画期間10年）しており、本計画に基づき史跡の保存、活用、整備、運営にかかる諸施策を実施していくこととなる。また平成28年策定の「五箇山景観計画」に基づく届出制度などにより、建築行為等における景観への配慮など少しずつ効果が現れている。</p> <p>② コガヤの自給率の向上を図るため南砺市茅場の造成事業補助金により、平成28年度からタカンボースキー場のゲレンデにおける茅場造成事業に対し支援を行っている。菅沼集落及び遊部自治会がそれぞれ取り組む茅場造成事業に対しても補助金交付による支援を行っており、今後も継続した事業支援により令和6年度には15,000束の収穫量まで達成できると見込みとなっており、全体的にも順調に推移している。</p>	

## エ 主な事業

事業名・目的	事業内容	事業費千円 (予算額)
<p>①歴史活き活き！史跡等総合活用整備事業</p> <p>：国・県の補助を活用し、相倉・菅沼集の保存と活用のために資する整備を行う。</p>	<p>国指定史跡相倉・菅沼集落にある建造物等の修理・整備を行い、歴史的景観の保全を図るとともに、修理現場の公開など市民が歴史や伝統文化に親しむ場として活用する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・相倉集落（R3：3棟） 茅葺替えほか3棟</li> <li>・菅沼集落（R3：1棟） 茅葺替えほか2棟</li> </ul> 	<p>45,524 (46,194)</p>
<p>①指定文化財管理事業</p> <p>：国・県の補助金を活用し、国指定文化財の保護に必要な修繕などの経費に対して補助を行う。</p>	<p>国指定文化財の所有者が行う管理上特に必要のある措置（棟直し、消防設備点検等）に要する経費に対して補助を行う（R3：同様）。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・重要文化財4棟 岩瀬家、村上家 羽馬家、白山宮本殿</li> <li>・史跡相倉・菅沼集落</li> </ul> 	<p>18,306 (18,525)</p>
<p>①電源立地地域対策交付金事業</p> <p>：電源立地地域住民の環境整備及び施設整備を行う。</p>	<p>市有合掌造り家屋の屋根葺替えや、相倉・菅沼両集落に関する利便施設等の整備を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・葺替え工事 2棟 合掌の里小林家、おさよ (R3：葺替え工事 1棟 合掌の里松与門家)</li> </ul> 	<p>21,087 (21,428)</p>
<p>②南砺市茅場造成事業</p> <p>：コガヤの自給率向上を目的に茅場の造成事業者等に対して補助を行う。</p>	<p>コガヤの自給率向上を目的に、タカンボースキー場のゲレンデを活用し茅場の造成に取り組んだ。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・造成面積 500㎡ (R3：500㎡)</li> </ul> 	<p>1,351 (1,351)</p>

## オ 今後の取組と改善点

<p>① 相倉・菅沼は、令和2年3月策定の史跡保存活用計画に基づき、住民生活との調和を図りながら合掌造り家屋や茅場などの保存に引き続き取り組むとともに、史跡の価値を広く伝える活用の視点を積極的に取り込み観光資源としての魅力を高めることで多様な構成要素の持続可能な保存につなげていく。また、世界遺産の緩衝地帯である平地域・上平地域では、五箇山景観計画に基づく届出制度の周知に努めるとともに、同計画が規定する「眺望点」「五箇山景観資産」の指定を通して、当該地域の景観づくりを推進する。</p> <p>② 令和3年度に「茅採取」がユネスコ無形文化遺産に登録されたことから、今後国・県からの支援も含め積極的な情報収集に努め小茅の増産・自給率向上を図っていきたい。</p>
---

## ア 計画の体系

基本目標	6 文化財の保存・活用と伝統文化の継承	担当課	文化・世界遺産課
基本施策	(2) 文化財展示・収蔵施設の機能充実		
主な取組	① 企画展、シンポジウム等の実施 ② 小中学校への周知活動		

## イ 主な指標（達成度）【文化財等の展示を見学に訪れた人数】

内容（指標）	目標値 (令和6年度)	R2	R3	R4	R5	R6	達成度 実績/目標値
埋蔵文化財センター入館者数	2,000人	832人	932人	888人	人	人	44.4%
城端曳山会館入館者数	12,000人	3,402人	3,504人	7,606人	人	人	63.4%

## ウ 点検及び評価

評価	コロナ禍の規制が徐々に緩和されたことから個人の入館者数は増加傾向にある。
C	地域の歴史文化の周知活動を継続し、子ども達の受け入れを積極的に行っていきたい。
<p>① 城端曳山会館においては、縮小開催ではあるが3年ぶりに「城端曳山祭り」が開催された。そのため入館者数が大幅に増加した。</p> <p>埋蔵文化財センターにおいても3年ぶりに、国史指定50周年の記念式典も加えて6月11日～19日の間「高瀬遺跡菖蒲まつり」を行った。そのため公園の入園者は増加したが、入館者数は微増に留まった。公園に入館してもらえる取組みを行いたい。</p> <p>② 城端曳山会館ではコロナ禍の中ではあったが、ふるさと教育の一環として子どもたちを積極的に受け入れた。小・中学生等約150名が来館し、地域の歴史文化を学んだ。</p> <p>埋蔵文化財センターでは、体験教室を開催した。高瀬遺跡菖蒲まつりでの教室開催や、市内小中学校の校外学習受け入れ等を行った。昨年度と比較して、コロナ対策を理由に10月の校外学習が中止となったため(約120名減)その分入館者数が減少した。より積極的に子どもたちの受け入れを行っていきたい。</p> <p>全体的な評価としては伝統文化の継承につながる周知活動にはまだまだ改善の余地があると考えている。</p>	



エ 主な事業

事業名・目的	事業内容	事業費千円 (予算額)
<p>① 曳山の工芸美術作品展示</p> <p>：城端曳山の魅力発信を行う。</p>	<p>曳山会館蔵回廊で、工芸美術品である曳山の見返し作品などの展示を行った。</p> <p>展示場所：城端曳山会館 土蔵群「蔵回廊」</p> 	<p>予算計上なし</p>
<p>① 高瀬遺跡指定50周年記念行事</p> <p>：国指定文化財（史跡）に指定されてから50周年を記念して高瀬遺跡の魅力発信を行う。</p>	<p>式典（6月18日）、講演会：「砺波平野の考古学と地球科学の境界領域の謎」（2月25日）、植樹（3月17日）、記念誌の発行といった行事を行った。</p> 	<p>170 (173)</p>
<p>② 小中学校への周知活動</p> <p>：城端曳山会館見学</p> <p>：埋蔵文化財センター歴史体験</p>	<p>城端曳山会館では小・中学生が曳山本体や庵屋台を見学し、地域に伝わる祭礼行事に触れた。埋蔵文化財センターでは、火起こし、勾玉づくりなどの歴史体験を行った。</p> 	<p>予算計上なし</p>

オ 今後の取組と改善点

<p>① ユネスコ無形文化遺産に登録以降、注目度が高まる「城端神明宮祭の曳山行事」について、遺産の価値を高めるためにも、保存・継承に努めながら活用に努める。</p> <p>② 埋蔵文化財センターは、小中学生にもわかりやすい展示、体験教室の充実を継続して図る。ふるさと学習や歴史体験の拠点施設としても活用し、小中学生や市民に地域の歴史に理解を深めてもらい、郷土愛を醸成させる。</p>
---

## ア 計画の体系

基本目標	6 文化財の保存・活用と伝統文化の継承	担当課	文化・世界遺産課
基本施策	(3) 文化・歴史遺産の保存と活用		
主な取組	① 文化財の保存と活用 ② 伝統芸能保存団体の育成		

## イ 主な指標（達成度）【国登録制度の文化財建造物の保存】

内容（指標）	目標値 (令和6年度)	R2	R3	R4	R5	R6	達成度 実績/目標値
登録有形文化財件数	25 件	20 件	24 件	24 件	件	件	96.0%

## ウ 点検及び評価

評価	目標値は達成にむけて順調に推移しているが、保護活用が必要とされる建造物の実態調査、埋蔵文化財調査における事業原因者との調整、伝統芸能後継者育成支援等、さらに改善等の取組を要する。
C	<p>① 令和4年度は「山田家住宅洋館」「山田家住宅蔵」「山田家住宅倉庫（旧詩百篇酒造壘倉）」「山田家住宅門及び塀」（福野地域）の4件が国登録有形文化財の大臣答申を受け保護につながられた。また埋蔵文化財調査は、県営ほ場整備事業に伴い令和3年度に引き続いて、松木地内で本調査、館・遊部地内で試掘調査を実施し、事業の円滑化及び埋蔵文化財の保護に努めることが出来た。</p> <p>① コロナ禍により城端曳山祭は縮小開催となったが、城端曳山祭の保存継承のため、外部講師を招き庵唄や囃子方の技能研鑽については、感染防止に配慮しながら例年どおり実施することが出来た。</p> <p>① 福野夜高曳山行事の総合調査を実施した。福野夜高祭の国の指定に向けて総合的に行事内容を詳細に調査し、調査報告書を刊行する。令和4年度の事業は夜高曳山の準備作業、祭当日の流れ、祭りに関わる町内の方の聞き取りを行った。</p> <p>② 令和4年度の事業は、観光ボランティア養成事業として高岡市御車山会館を会場に、南砺市、魚津市、高岡市の観光ボランティアが会し、祭礼に関する講座、曳山修理状況の視察等の研修会を開催した。また、記録保存事業として、城端曳山祭における各曳山の組立・解体手順等に係る技術的ノウハウや従事者の状況を映像で記録したDVDを制作したほか、併せて史料や口伝等で伝わる組立・解体技術の聞き書き調査を実施した。</p>

## エ 主な事業

事業名・目的	事業内容	事業費千円 (予算額)
<p>①国登録文化財制度の活用</p> <p>: 国登録文化財の登録を促すことにより、文化財の保存と活用の意識向上につなげる。</p>	<p>吉田鉄郎設計の「山田家住宅洋館」ほか「山田家住宅蔵」「山田家住宅倉庫（旧詩百篇酒造壘倉）」「山田家住宅門及び塀」の4件が国登録有形文化財の大臣答申を受けた。</p> <p>(R3：城端蔵回廊3件)</p> 	<p>予算計上なし</p>
<p>①埋蔵文化財調査</p> <p>: ほ場整備を進めるにあたり埋蔵文化財の保護を目的とした調査を行う。</p>	<p>石黒東部地区松木地内本調査および館・遊部地区試掘調査</p> <p>(ともに県営ほ場整備事業関連)</p> 	<p>55,326 (86,149)</p>
<p>①福野夜高曳山行事総合調査事業</p> <p>: 福野夜高曳山行事を詳細に調査し、行事の価値を再確認する。</p>	<p>福野夜高曳山行事総合調査 現地調査、調査委員会の開催</p> 	<p>2,401 (3,000)</p>

<p>②城端曳山祭保存活動支援</p> <p>：城端曳山祭における文化財の保存と活用・伝統芸能保存団体を育成する。</p>	<p>城端曳山祭保存会活動補助金</p> 	<p>517 (517)</p>
<p>②とやまのユネスコ無形文化遺産普及啓発事業</p> <p>：富山県のユネスコ無形文化遺産に登録された3つの祭礼の普及啓発事業を実施し富山への誇りや愛着の醸成と魅力あるまちづくりの推進を図る。</p>	<p>・城端曳山祭における記録保存映像の製作（記録映像 20分）</p> 	<p>103 (200)</p>

### オ 今後の取組と改善点

<p>① 国登録候補の建造物について引き続き調査を進め、今後は年1件程度（民間希望を優先）のペースで登録申請を行う。登録を受けた建造物はできるだけ活用を図りながら保存に努める。</p> <p>① 市内各地区において県営ほ場整備事業の実施採択が予定されており、対象地区内の埋蔵文化財調査が増加傾向にあることから、地区住民、事業原因者との連携、情報共有を密にし、事業の円滑化及び埋蔵文化財保護の両立を図る。</p> <p>① 指定の有無に関わらず、文化財の現状把握、適切な保存を計画的に実施していく。さらに民具等の調査を計画的に実施する。</p> <p>② 文化財の保存団体に対し、後継者不足等の存続にかかる問題点を聞き取りし、打開策、支援策を講じていく。</p>
--

## 学識経験者の意見について

### 1. 点検評価委員会開催日、時間及び場所

令和5年8月31日（木） 10時00分から  
市役所 302会議室

### 2. 主な意見

#### (1) 教育委員会 組織・機構図の表示について

教育委員会 組織・機構図（点検・評価報告書 7頁）

井波にじいろ保育園は認定こども園ではなかったのか。組織の名称は正式な名称で表示されたい。

#### (2) 今後の部活動に対する支援と給食費負担の平準化について

基本施策：健やかな体の育成（点検・評価報告書 26頁～28頁）

部活動については、今後チームで行うスポーツが学校単位で維持できなくなることが予想され、現在協議が行われているところだが、部活動の支援はこれからどのように進んでいき、どのタイミングで改善や実施されるのか市民の関心が高く大変気になっている。

南砺市の学校給食は、センター方式ではなく自校方式で提供しているところが素晴らしいところである。かつては地域、学校によって給食費にばらつきがあったように思うが、学校の規模によって保護者の給食費負担が異なるということは同じ市内ならば負担の格差をなくすべきだと思うので、給食費の平準化を進めていただいたことは大変良いことだと思う。

#### (3) 各競技スポーツへの支援制度について

基本施策：競技スポーツの振興（点検・評価報告書 43頁、44頁）

水泳やスキーなど素晴らしい結果を出しているスポーツへの支援がある中で、例えば野球やサッカーなど、ほかのスポーツに対する支援についてはどのようなことが行われているのか。市内の力のある子どもが県外の学校に進学しているという話を関係者から聞いたことがあるので、できるだけ各競技に支援を行い、世界でも活躍するような子ども達がこの南砺市から生まれることを期待する。

#### (4) 保育士の確保と勤務時間について

基本施策：未来をひらく子育て支援（点検・評価報告書 47頁～50頁）

保育士の業務については、長時間の勤務が主流となっているということだが、これから保育士がだんだん減少し、必要な人材の確保が難しくなっていく時代になり、現在子育て中の保育士資格を持っているような潜在的な保育士を発掘、活用し、短時間でも働いていただくというようなことが必要ではないか。

#### (5) 南砺市いなみ国際木彫刻キャンプの作品について

基本施策：文化芸術創造プランの推進（点検・評価報告書 60頁～63頁）

南砺市は文化芸術に関し多方面にわたり力を入れている。南砺市いなみ国際木彫刻キャンプについては、ボランティアをはじめとした手厚いサポートにより、招待作家のみなさんに気持ちよく作品を制作していただいたと思う。制作していただいた作品の展示について、長く作品を鑑賞していただくためにもできるだけ市の公共施設をはじめ、保育園やお寺などでの屋内展示に努めていただきたい。

#### （6）文化ホールイベントや美術館の企画展示の周知活動について

基本施策：文化ホール・美術館等の事業の充実（点検・評価報告書 66頁、67頁）

SNSなど新しい広報の方法を活用し、一個人のみならず市民全体で情報発信してもらえそうな仕組みがあるとよい。

#### （7）文化財展示の工夫について

基本施策：文化財展示・収蔵施設の機能充実（点検・評価報告書 70頁、71頁）

文化財の展示において、郷土の偉人に絡めて歴史と文化をつなげていくような試みがあるとよい。

#### （8）その他

南砺市には豊かな自然やさまざまな食文化があり、また数多くの祭りや行事もあるなど、魅力的な地域の資源はたくさんある。それをどう見せるかというのが我々の腕の見せ所だと思う。一般の方、特に若い方をどんどん巻き込み、それら地域資源の活用や情報発信に取り組めばよい。

以上



令和5年度（令和4年度事業）  
教育委員会事務の点検・評価報告書

南砺市教育委員会  
〒939-1692 南砺市荒木1550番地  
TEL：0763-23-2012 FAX：0763-52-6350